



基本方針 4 大阪府立図書館は、大阪の歴史と知の蓄積を確実に未来に伝えます。

| | | | |
|--------------------|---|---|--|
| 重点目標 4-1 | 地域資料を積極的に収集するとともに、古典籍を充実します。 | | |
| 評価 |  | 【評価の理由】 基本となる活動内容（4-1-1 寄贈資料の収集）において目標の達成が見られたので、この評価とした。 | |

| | | | | |
|--|--|----------|----------|---|
| 4-1-1 | 府内の行政機関や文化機関に対して働きかけ、寄贈資料の収集に努めます | | | 活動内容の評価 |
| 継 続 | | | |  |
| 【指標】 | 指標名【評価基準・目標数値】 | 平成 22 年度 | 平成 21 年度 | 活動指標の評価 |
| 活動指標 | 寄贈依頼件数【A】 | * * 件 | * * 件 | ◎ |
| | SSC 情報掲載数【B 月 1 回】 | 12 回 | 6 回 | ◎ |
| 参照指標 | 寄贈点数 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 寄贈資料の収集には、日常的な情報収集と、発行機関への働きかけが欠かせない。新聞○紙、雑誌○誌は継続してチェックを行っており、地域情報誌等も含めてきめこまかく情報収集している。さらに、平成 22 年度当初には、府行政機関に、年間を通じての寄贈依頼のお願い文書を発送、さらに、SSC に定期的に寄贈依頼の情報を掲載することにより、府行政機関からの発行物の寄贈が微増した。 継続寄贈いただいている機関の情報をデータ化し、年報等定期刊行物の発行状況を確認して、適切な時期に継続寄贈依頼できる仕組みを構築できた。 | | | | |
| 【工程表】平成 22 年度 | | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | |
| 寄贈資料の充実 | | | → | |

| | | | | |
|--|---|----------|---------------|---------|
| 4-1-2 | 古典籍はじめ未収集資料について、将来利用を見込んだ効果的な収集を行います | | | 活動内容の評価 |
| 新 規 | | | | — |
| 【指標】 | 指標名【評価基準・目標数値】 | 平成 22 年度 | 平成 21 年度 | 活動指標の評価 |
| 活動指標 | 収集実務マニュアル作成【C】 | — | | — |
| | 未収資料検索ツール類の作成【C】 | — | | — |
| <ul style="list-style-type: none"> 専門性に裏付けられた経験と知識により資料収集を行なっているが、限られた予算をさらに有効的に活用するためには一定のマニュアル化が必要である。古書目録・展示会等の情報収集、府立図書館の蔵書傾向に沿った古典籍の重点収集等、現状の検証と今後に向けての検討会議を、平成 22 年度内に設けた。これにより、今後のコレクションの核となる資料の確認、周辺資料への目配り、実務レベルでのノウハウの洗い出し、予算規模に応じた収集の方向性等、次年度以降、さらに具体的な項目に沿って検討を進めていくことになった。 | | | | |
| 【工程表】平成 22 年度 | | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | |
| マニュアル策定に向けた検討 | | | → | |
| | | | マニュアル・ツール類の作成 | |